

.NET Framework 用帳票作成ツール

***Reports.NET***

***Reports.jar***

# レポート定義XMLファイル仕様

第4版

2006年8月1日

Pao@Office

Copyright 2003-2006 Pao@Office

All rights reserved.

本書は、有限会社パオ・アット・オフィスが開発したソフトウェア「Reports.NET」のレポート定義ファイルの仕様についての説明を行うものです。

利用者は本書のいかなる部分も、発行者の許可なく、複製を行ってはいけません。

有限会社パオ・アット・オフィスは、本書の内容に起因する一切の結果に関して、いかなる責任も負いません。

有限会社パオ・アット・オフィスは、本書の内容、または Reports.NET の仕様を予告なく改訂、あるいは、内容変更する権利を有します。また、それらの行為を行った場合においても、利用者への通知の義務を負いません。

有限会社パオ・アット・オフィスは、Reports.NET の仕様に起因する結果にたいして、いかなる責任も負いません。

マニュアル中での画像は、説明のため見やすく編集している箇所があります。利用者の皆様の画面とは一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本マニュアルの中で記載されている製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

有限会社パオ・アット・オフィス

郵便番号 275-0026

千葉県習志野市谷津 3-29-2-401

<http://www.pao.ac/>

## 目次

1.概要 .....	1
2.要素のツリー構造 .....	4
3.各要素内属性の説明 .....	5
3-1. <PrintDefine> ... ルート要素 .....	5
3-2. <PrintSetting> ... レポートの設定情報 .....	5
3-3. <Paper> ... 用紙の設定 .....	6
3-4. <PrintAttrs> ... 印刷オブジェクトの属性情報の記述場所 .....	7
3-5. <FontAttr> ... フォント属性情報 .....	7
3-6. <LineAttr> ... 罫線属性情報 .....	8
3-7.<HatchAttr> ... 網掛け属性情報 .....	8
3-8. <Design> ... デザイナーでのみ利用する情報 .....	9
3-9. <PrintObjects> ... 各印刷オブジェクトの記述場所 .....	10
3-10.<Text> ... テキスト情報 .....	11
3-11. <Line> ... 罫線情報 .....	12
3-12. <Square> ... 四角・角丸情報 .....	13
3-13. <Circle> ... 丸・楕円情報 .....	14
3-14.<Image> ... 画像情報 .....	15
3-15. <Barcode> ... バーコード情報 .....	16
3-16. <ArtText> ... 装飾文字情報 .....	18

## 1.概要

帳票(レポート)のデザインは、XMLファイルに記述することができます。

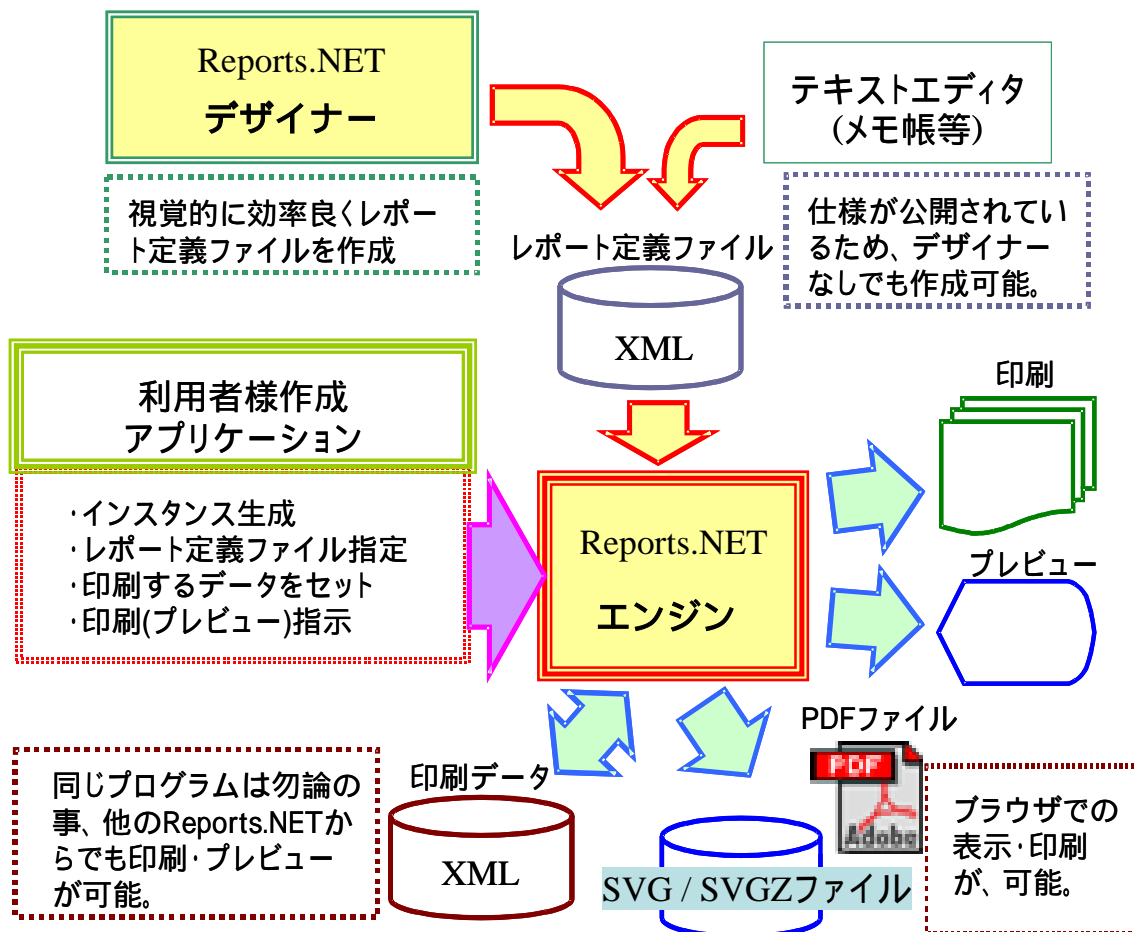
本書は、そのXMLファイルの仕様を記述したものです。

そのXMLファイルをレポート定義ファイルと呼ぶことにします。

Reports.NET のデザイナーも、この仕様にしたがって、帳票のデザインをレポート定義ファイルに吐き出します。

Reports.NET の本体(エンジン)は、レポート定義ファイルを読み込んで、印刷又は、プレビューを行うという仕組みです。

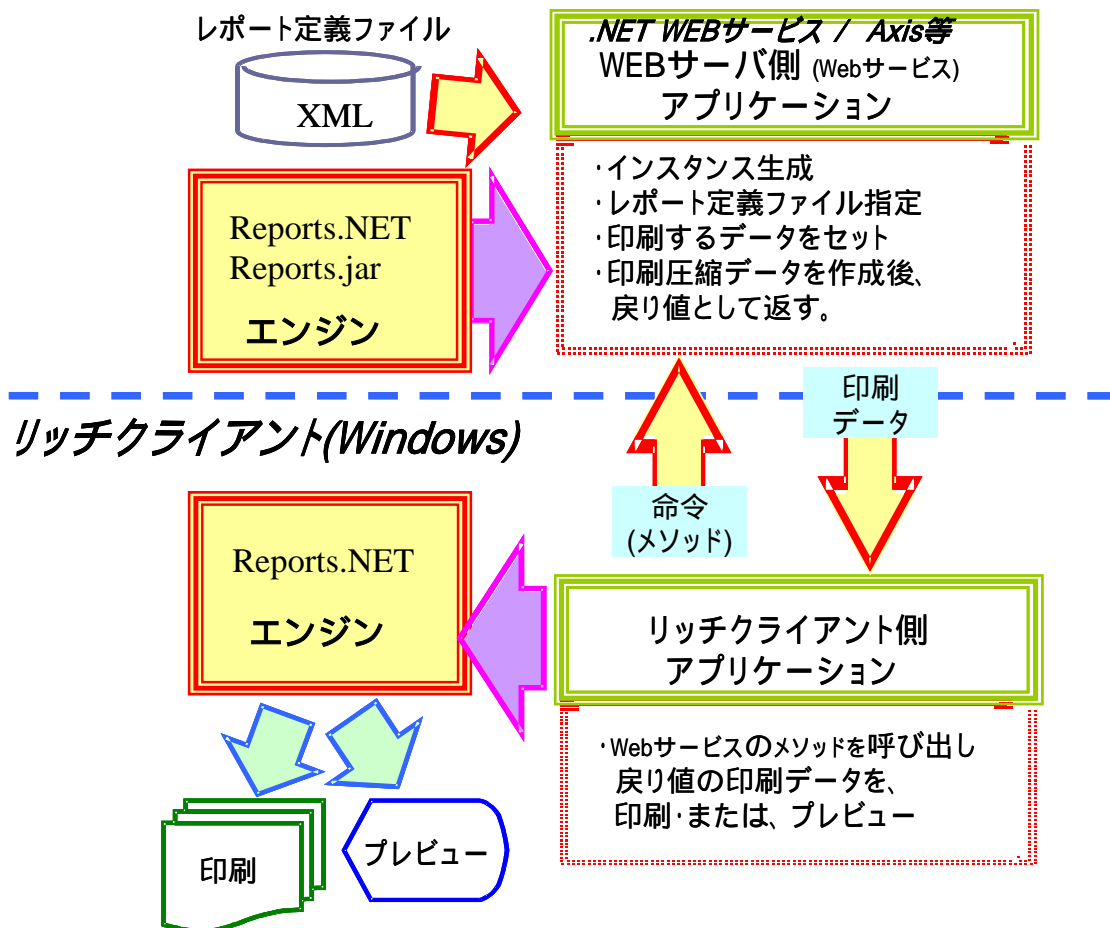
また、印刷データは、PDF ファイルや、SVG / SVGZ ファイルに出力することができます。



## 【Web サービスとの連携】

Windows をプラットフォームとしたリッチクライアントから、IIS や UNIX(Linux 等)サーバ上の WEB サービス(.NET Webservice / axis 等)に対して 1 つの命令を下す(メソッドを呼び出す)だけで、WEB サーバから印刷データを圧縮したバイナリデータを取得し、印刷を行うことが可能です。クライアントから命令がきたら(メソッドが呼び出されたら)サーバ側のみでデータベース等にアクセスして印刷データを作成し、バイナリデータ(byte[]型変数)として、クライアント側に返し、クライアント側でそれを印刷するという仕組みです。

WEB サーバ側のプラットフォームに多様性を持たせるため、開発言語は、.NET だけでなく Java 言語にも対応しています。(Reports.jar)

**WEBサーバー(Windows IIS / Linux Apach 等)**

## 《レポート定義ファイルの例》

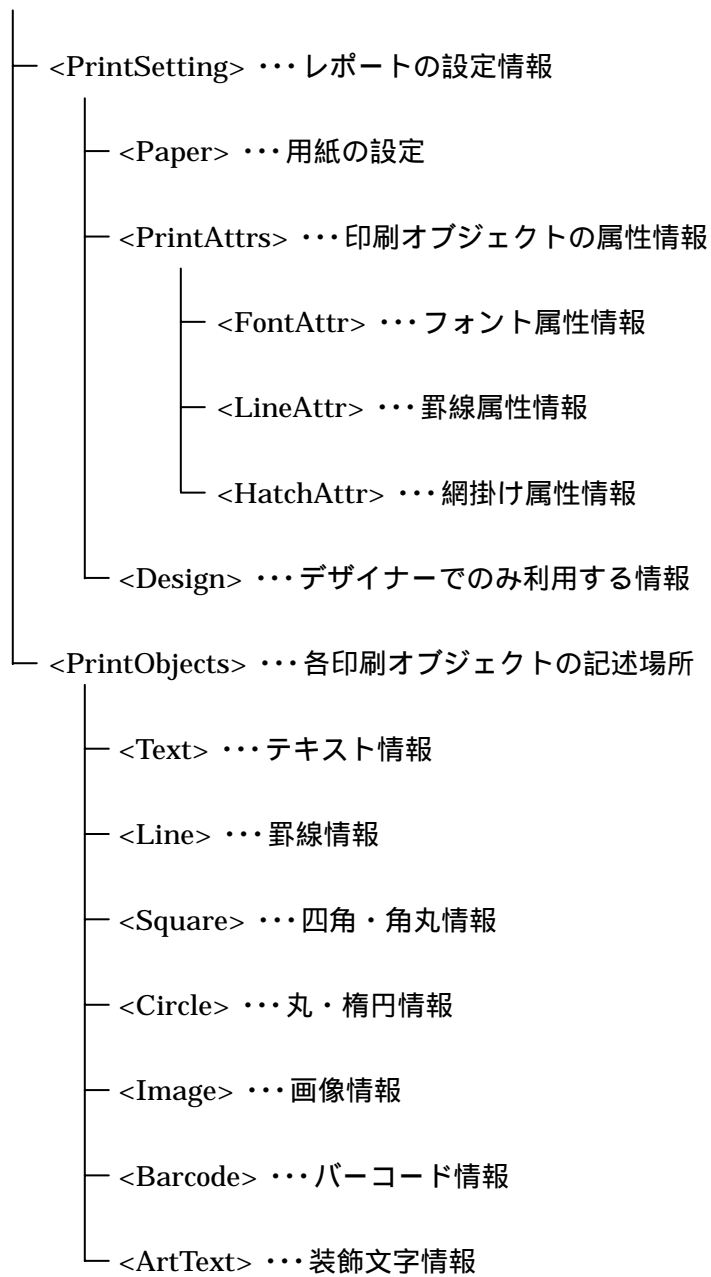
```

<PrintDefine>
  <PrintSetting Name="レポート定義ファイル" Ver="1.00">
    <PrintAttrs>
      <FontAttr AttrName="Font1" Name="MS 明朝" Size="9" />
      <FontAttr AttrName="Font2" Name="MS 明朝" Size="12" Bold="True" />
      <LineAttr AttrName="Line1" Width="0.3" />
      <LineAttr AttrName="Line2" Color="0" Width="0" />
    </PrintAttrs>
    <Paper Size="A4" Direction="False" />
    <Design FontAttr="Font1" LineAttr="Line1" GridWidth="2" GridFit="True"
      DesignScale="100" />
    </PrintSetting>
  <PrintObjects>
    <Square Name="Square1" X="6" Y="12" Width="190" Height="8" Angle="0"
      LineAttr="Line1" PaintColor="ffe0e0e0" R="3" BR="Angle" BL="Angle" />
    <Text Name="Field1" X="44" Y="2" Width="110" Height="8" Angle="0" Text="印刷テストプログラム" Elastic="True" Align="Center" FontAttr="Font2" />
    <Text Name="郵便番号" X="8" Y="22" Width="18" Height="4" Angle="0"
      Text="999-9999" Elastic="False" Align="Center" FontAttr="Font1" IntervalY="8"
      Repeat="28" />
    <Text Name="Field3" X="8" Y="14" Width="18" Height="4" Angle="0" Text="郵便番号"
      Elastic="False" Align="Center" FontAttr="Font1" />
    <Line Name="横罫線" StartX="6" StartY="28" EndX="196" EndY="28" LineAttr="Line1"
      IntervalY="8" Repeat="28" />
    <Text Name="Field4" X="30" Y="14" Width="46" Height="4" Angle="0" Text="市区町村"
      Elastic="False" Align="Center" FontAttr="Font1" />
    <Text Name="Field5" X="80" Y="14" Width="116" Height="4" Angle="0" Text="住所"
      Elastic="False" Align="Center" FontAttr="Font1" />
    <Text Name="市区町村" X="30" Y="22" Width="46" Height="4" Angle="0" Text="X X X 県
      X X 市" Elastic="False" Align="Center" FontAttr="Font1" IntervalY="8" Repeat="28"
      />
    <Text Name="住所" X="80" Y="22" Width="116" Height="4" Angle="0" Text="X X X X X
      X X X X" Elastic="False" Align="Center" FontAttr="Font1" IntervalY="8"
      Repeat="28" />
    <Text Name="日時" X="8" Y="2" Width="22" Height="6" Angle="0" Text="9999/99/99
      99:99:99" Elastic="False" Align="Center" FontAttr="Font1" />
    <Text Name="ページ" X="180" Y="4" Width="16" Height="4" Angle="0"
      Text="Page-999" Elastic="False" Align="Left" FontAttr="Font1" />
    <Line Name="Line2" StartX="28" StartY="12" EndX="28" EndY="244"
      LineAttr="Line1" />
    <Line Name="Line3" StartX="78" StartY="12" EndX="78" EndY="244"
      LineAttr="Line1" />
    <Line Name="Line4" StartX="196" StartY="20" EndX="196" EndY="244"
      LineAttr="Line1" />
    <Line Name="Line5" StartX="6" StartY="20" EndX="6" EndY="244" LineAttr="Line1"
      />
    <Barcode Name="バーコード" X="6" Y="248" Width="60" Height="14" Angle="0"
      StartStop="False" Soeji="True" Kintou="True" FontAttr="Font1" Kind="Code128"
      Code="123456789012" />
    <Image Name="画像" X="134" Y="246" Width="62" Height="38" Angle="0"
      LineAttr="Line2" Align="RT">tv.jpg</Image>
    <ArtText Name="装飾文字" X="14" Y="260" Width="122" Height="28" Angle="0"
      FontName="Arial Black" FontBold="True" Color="Red" OutLineWidth="1"
      OutLineColor="White" PileRate="50" DelimiterProcess="True" DelimiterString=","
      DelimiterPileRate="30" ShearX="-0.35" ShearStretch="True" ShadowX="3"
      ShadowY="3" ShadowColor="Gray" ShadowLineColor="DeepSkyBlue"
      ShadowLineWidth="0.3" Text="Reports.NET" />
  </PrintObjects>
</PrintDefine>

```

## 2.要素のツリー構造

<PrintDefine> …ルート要素



### 3.各要素内属性の説明

属性のアンダーライン付きが、必須属性、

値のアンダーライン付きが、属性省略時の既定値とします。

属性・値については全て大文字・小文字の区別は必要です。

座標の単位は、全て、ミリ(mm)で指定してください。

各要素で、頻繁に使用している、Color 属性については、前述しておきます。

Color 属性には以下の方法で色を指定することが可能です。

- .NET で定義されている色の名前を英語で指定する。 例：Color="Black"
- RGB 値を、カンマ区切りで、指定する。 例：Color="255,255,255"
- ARGB 値を、そのまま指定する。 例：Color="123456789"
- ARGB 値を、16進表記で指定する。 例：Color="ff00c0c0"

#### 3-1. <PrintDefine> ……ルート要素

属性	説明
なし	

#### 3-2. <PrintSetting> ……レポートの設定情報

属性	説明
<u>Name</u>	現状「レポート定義ファイル」固定
<u>Ver</u>	バージョン。現在、1.10



## 3-3. &lt;Paper&gt; …用紙の設定

属性	説明
Size	用紙サイズ A0/A1/A2/A3/ <u>A4</u> /A5/B0/B1/B2/B3/B3/B5/はがき/任意 を指定可能
IsInch	用紙の幅・高さをインチで指定するかどうか Size 属性に、[任意]が指定されたときのみ有効 True：インチで指定 <b><u>False</u></b> ：ミリメートル(mm)で指定
Width	用紙の幅 Size 属性に、[任意]が指定されたときのみ有効
Height	用紙の高さ Size 属性に、[任意]が指定されたときのみ有効
Direction	True：用紙横 <b><u>False</u></b> ：用紙縦

## 3-4. &lt;PrintAttrs&gt; … 印刷オブジェクトの属性情報の記述場所

フォント・罫線・網掛けの各属性を定義しておいて、定義した属性の名称を使って、後に各オブジェクトで利用するものです。

属性	説明
なし	

## 3-5. &lt;FontAttr&gt; … フォント属性情報

属性	説明
<u>AttrName</u>	属性名称。 後に各オブジェクトが利用するときこの名前を使用します。
<u>Name</u>	フォント名称。例：“MS ゴシック”
<u>Size</u>	フォントサイズをポイントで指定。
Bold	True：太字 <b>False</b> ：太字ではない
Italic	True：斜体 <b>False</b> ：斜体ではない
Color	文字の色を指定。 <b>Black</b> が、既定値。 指定方法は、「3．各要素内属性の説明」を参照の事。

## 3-6. &lt;LineAttr&gt; … 罫線属性情報

属性	説明
<b><u>AttrName</u></b>	属性名称。 後に各オブジェクトが利用するときにこの名前を使用します。
<b><u>Width</u></b>	線の幅を指定。
Color	線の色を指定。 <b><u>Black</u></b> が、既定値。 指定方法は、「3. 各要素内属性の説明」を参照の事。
Style	線のスタイルを指定 <b><u>Solid</u></b> : 直線 Dash : 破線 Dot : 点線 DashDot : 一点破線 DashDotDot : 二点破線
Pattern	破線パターン。 線の長さ、空白の長さで指定する。区切りはカンマとする。 例 : Pattern= " 10,5 " デザイナーでは未対応属性
Type	線のタイプを指定 <b><u>Single</u></b> : 単線 Double : 二重線 デザイナーでは未対応属性

## 3-7.&lt;HatchAttr&gt; … 網掛け属性情報

属性	説明
<b><u>AttrName</u></b>	属性名称。 後に各オブジェクトが利用するときにこの名前を使用します。
<b><u>Density</u></b>	網掛けの濃さを%で指定。(1 ~ 100)

## 3-8. &lt;Design&gt; ...デザイナーでのみ利用する情報

属性	説明
FontAttr	オブジェクト全般に使用されるフォントの規定値を指定。 前もって設定されている<FontAttr>要素の AttrName を使用。
LineAttr	オブジェクト全般に使用される罫線の規定値を指定。 前もって設定されている<LineAttr>要素の AttrName を使用。
GridWidth	デザイン時のグリッドの幅を指定。
GridFit	デザイン時に、グリッドに沿わせるかを指定。 <b>True</b> ：グリッドに沿わせる <b>False</b> ：グリッドに沿わせない
ObjLock	全オブジェクトがデザイン時にロックされるかどうかを指定します。 <b>True</b> ：オブジェクトをロック <b>False</b> ：オブジェクトをロックしない
DesignScale	デザイン時の表示倍率を指定。

## 3-9. &lt;PrintObjects&gt; …各印刷オブジェクトの記述場所

各オブジェクトの属性を定義する場所です。

**重要：記述された順番にオブジェクトは描画されます。**

最初に記述されたオブジェクトが、一番下に、

最後に記述されたオブジェクトが一番上に描画されます。

全オブジェクトに共通する属性を前述しておきます。

属性	説明
InternalX	オブジェクトのX(横)方向への繰り返し描画間隔。規定値は <u>0</u>
InternalY	オブジェクトのY(横)方向への繰り返し描画間隔。規定値は <u>0</u> 表で、頻繁に使用されることを目的としています。
Repeat	上記、InternalX・InternalY の繰り返し回数です。規定値は <u>0</u> が・・・ デザイン時のプレビューでの確認にしか使用しません。 実際の繰り返し回数は、ユーザプログラムから制御します。

もう一つ、Line 以外のオブジェクトに共通する属性を前述しておきます。

属性	説明
<u>X</u>	オブジェクトの始点 X 座標
<u>Y</u>	オブジェクトの始点 Y 座標
<u>Width</u>	オブジェクトの幅
<u>Height</u>	オブジェクトの高さ
Angle	オブジェクトの回転角度。規定値は <u>0</u> ° オブジェクトの左下を中心に・・・ 左回りが正值(0 ° ~ 180 °) 右回りが負値(0 ° ~ - 180 °)
InternalX	オブジェクトのX(横)方向への繰り返し描画間隔。規定値は <u>0</u>
InternalY	オブジェクトのY(横)方向への繰り返し描画間隔。規定値は <u>0</u> 表で、頻繁に使用されることを目的としています。
Repeat	上記、InternalX・InternalY の繰り返し回数です。規定値は <u>0</u> が・・・ デザイン時のプレビューでの確認にしか使用しません。 実際の繰り返し回数は、ユーザプログラムから制御します。

## 3-10.&lt;Text&gt; …テキスト情報

属性	説明
<u><b>X</b></u>	オブジェクトの始点 X 座標
<u><b>Y</b></u>	オブジェクトの始点 Y 座標
<u><b>Width</b></u>	オブジェクトの幅
<u><b>Height</b></u>	オブジェクトの高さ
Angle	オブジェクトの回転角度。規定値は <u>0</u> °
Text	描画する文字列。規定値は ""(空文字)
Align	文字の位置。 <u><b>Left</b></u> : 左寄せ Center : 中央寄せ Right : 右寄せ
<u><b>FontAttr</b></u>	描画する文字のフォントを指定。 前もって設定されている<FontAttr>要素の AttrName を使用。
Elastic	オブジェクトの幅・高さに応じて文字を伸縮させるかを指定。 True : 伸縮させる <u><b>False</b></u> : 伸縮させない
OutLineWidth	文字のアウトラインの幅。 Elastic="True"(伸縮文字)のときのみ有効。
OutLineColor	文字のアウトラインの色。 Elastic="True"(伸縮文字)のときのみ有効。 指定方法は、「3 . 各要素内属性の説明」を参照の事。
BackColor	背景色。規定値は <u>背景色なし</u> 。 指定方法は、「3 . 各要素内属性の説明」を参照の事。
InternalX	オブジェクトの X(横)方向への繰り返し描画間隔。規定値は <u>0</u>
InternalY	オブジェクトの Y(横)方向への繰り返し描画間隔。規定値は <u>0</u>
Repeat	上記、InternalX・InternalY の繰り返し回数です。規定値は <u>0</u>

## 3-11. &lt;Line&gt; … 罫線情報

属性	説明
<b><u>StartX</u></b>	罫線の始点 X 座標
<b><u>StartY</u></b>	罫線の始点 Y 座標
<b><u>EndX</u></b>	罫線の終点 X 座標
<b><u>EndY</u></b>	罫線の終点 Y 座標
Thick	円弧の厚みを mm で指定。規定値は 0
Text	描画する文字列。規定値：”(空文字)
<b><u>LineAttr</u></b>	描画する罫線の属性を指定。 前もって設定されている<LineAttr>要素の AttrName を使用。
InternalX	オブジェクトの X (横)方向への繰り返し描画間隔。規定値は 0
InternalY	オブジェクトの Y (横)方向への繰り返し描画間隔。規定値は 0
Repeat	上記、InternalX・InternalY の繰り返し回数です。規定値は 0

## 3-12. &lt;Square&gt; …四角・角丸情報

属性	説明
<u>X</u>	オブジェクトの始点 X 座標
<u>Y</u>	オブジェクトの始点 Y 座標
<u>Width</u>	オブジェクトの幅
<u>Height</u>	オブジェクトの高さ
Angle	オブジェクトの回転角度。規定値は <u>0</u> °
<u>LineAttr</u>	四角形枠線の罫線の属性を指定。 前もって設定されている<LineAttr>要素の AttrName を使用。
PaintColor	四角形内を塗りつぶす色を指定。規定値は <u>塗りつぶしなし</u> 指定方法は、「3. 各要素内属性の説明」を参照の事。 なお、下の HatchAttr のどちらかしか指定できない。
HatchAttr	四角形内を網掛けする属性を指定。規定値は、 <u>網掛けなし</u> 前もって設定されている<HatchAttr>要素の AttrName を使用。 なお、上の PaintColor のどちらかしか指定できない。
R	四角形の角を丸くする R 値を mm で指定。規定値は <u>0</u>
TL	R に値がある(0 以外の)とき、左上の角を丸めるか指定。 <u>True</u> : 左上の角を丸める False : 左上の角を丸めない
TR	R に値がある(0 以外の)とき、右上の角を丸めるか指定。 <u>True</u> : 右上の角を丸める False : 右上の角を丸めない
BL	R に値がある(0 以外の)とき、左下の角を丸めるか指定。 <u>True</u> : 左下の角を丸める False : 左下の角を丸めない
BR	R に値がある(0 以外の)とき、右下の角を丸めるか指定。 <u>True</u> : 右下の角を丸める False : 右下の角を丸めない
InternalX	オブジェクトの X (横) 方向への繰り返し描画間隔。規定値は <u>0</u>
InternalY	オブジェクトの Y (横) 方向への繰り返し描画間隔。規定値は <u>0</u>
Repeat	上記、InternalX・InternalY の繰り返し回数です。規定値は <u>0</u>



## 3-13. &lt;Circle&gt; … 丸・楕円情報

属性	説明
<u>X</u>	オブジェクトの始点 X 座標
<u>Y</u>	オブジェクトの始点 Y 座標
<u>Width</u>	オブジェクトの幅
<u>Height</u>	オブジェクトの高さ
Angle	オブジェクトの回転角度。規定値は <u>0</u> °
<u>LineAttr</u>	円・楕円枠線の罫線の属性を指定。 前もって設定されている<LineAttr>要素の AttrName を使用。
PaintColor	円・楕円内を塗りつぶす色を指定。規定値は <u>塗りつぶしなし</u> 指定方法は、「3 . 各要素内属性の説明」を参照の事。 なお、下の HatchAttr のどちらかしか指定できない。
HatchAttr	四角形内を網掛けする属性を指定。規定値は <u>網掛けなし</u> 前もって設定されている<HatchAttr>要素の AttrName を使用。 なお、上の PaintColor のどちらかしか指定できない。
InternalX	オブジェクトの X (横) 方向への繰り返し描画間隔。規定値は <u>0</u>
InternalY	オブジェクトの Y (横) 方向への繰り返し描画間隔。規定値は <u>0</u>
Repeat	上記、InternalX・InternalY の繰り返し回数です。規定値は <u>0</u>

## 3-14.&lt;Image&gt; …画像情報

属性	説明
<u><b>X</b></u>	オブジェクトの始点 X 座標
<u><b>Y</b></u>	オブジェクトの始点 Y 座標
<u><b>Width</b></u>	オブジェクトの幅
<u><b>Height</b></u>	オブジェクトの高さ
Angle	オブジェクトの回転角度。規定値は <u>0</u> °。
<u><b>LineAttr</b></u>	画像の枠線の罫線の属性を指定。規定値は <b>枠線なし</b> 。 前もって設定されている<LineAttr>要素の AttrName を使用。
ImageSizeType	<u><b>Zoom</b></u> : 枠内で画像サイズの縦横の等比率を保つ Stretch : 枠の大きさに画像の大きさを合わせる。 Clip : 画像の本来の大きさで描画
Reverse	画像の反転を指定。 <u><b>NoRev</b></u> : 反転しない LR or LeftRight : 左右反転 TB or TopBottom : 上下反転 TBLR or TopBottomLeftRight : 上下左右反転
Align	枠内の画像の位置を指定。 <u><b>TL</b></u> or TopLeft : 左上 TR or TopRight : 右上 Center : 中央 BL or BottomLeft : 左下 BR or BottomRight : 右下
BackColor	背景色。規定値は <b>背景色なし</b> 。 指定方法は、「3 . 各要素内属性の説明」を参照の事。
InternalX	オブジェクトの X (横) 方向への繰り返し描画間隔。規定値は <u>0</u>
InternalY	オブジェクトの Y (横) 方向への繰り返し描画間隔。規定値は <u>0</u>
Repeat	上記、InternalX・InternalY の繰り返し回数です。規定値は <u>0</u>

## 3-15. &lt;Barcode&gt; …バーコード情報

属性	説明
<u>X</u>	オブジェクトの始点 X 座標
<u>Y</u>	オブジェクトの始点 Y 座標
<u>Width</u>	オブジェクトの幅
<u>Height</u>	オブジェクトの高さ
Angle	オブジェクトの回転角度。規定値は <u>0</u> °
<u>Kind</u>	バーコードの種類。以下のいずれかを指定 JAN13/JAN8/ITF/Matrix2of5/NEC2of5/NW7/Code39 /Code128/UCCEAN128/郵便カスタマバーコード
<u>Code</u>	バーコードのコードを指定
Soeji	バーコードの下に描画する添え字の有無を指定 <b>True</b> : 添え字を描画する False : 添え字を描画しない
Kintou	バーコードの下に描画する添え字の均等割付 Soeji が、True のときのみ指定する True : 均等割付する False : 均等割付しない <b>JAN コードの場合、False が規定値で商品コードとなる</b> (JAN コードで均等割付すると書籍コードのようになる) <b>他のバーコードの規定値は True(均等割付する)</b>
FontAttr	描画する添え字のフォントを指定 Soeji が、True のときのみ指定する 前もって設定されている<FontAttr>要素の AttrName を使用。 規定値は <b>MS ゴシック 9 ポイント</b>
StartStop	バーコードのスタート・ストップコードを描画するかを指定 バーコードの種類が、Code39/NW7 のときのみ有効 Soeji が、True のときのみ指定する True : スタート・ストップコードを描画 <b>False</b> : スタート・ストップコードを描画しない
<u>Point</u> (郵便カスタマバー コードのときのみ必 須)	郵便カスタマバーコードのポイントを指定 8 ~ 11.5 ポイントの数値を指定。

属性	説明
<b><u>QrVrsion</u></b> (QR コードのときのみ必須)	QR コードのバージョンを指定 1 ~ 40 の数値を指定。
<b><u>QrErrCorrect</u></b> (QR コードのときのみ必須)	QR コードのエラー訂正レベルを指定 L/M/Q/H のいずれかを指定。
InternalX	オブジェクトのX(横)方向への繰り返し描画間隔。規定値は <u>0</u>
InternalY	オブジェクトのY(横)方向への繰り返し描画間隔。規定値は <u>0</u>
Repeat	上記、InternalX・InternalY の繰り返し回数です。規定値は <u>0</u>

## 3-16. &lt;ArtText&gt; … 装飾文字情報

属性	説明
<u>X</u>	オブジェクトの始点 X 座標
<u>Y</u>	オブジェクトの始点 Y 座標
<u>Width</u>	オブジェクトの幅
<u>Height</u>	オブジェクトの高さ
Angle	オブジェクトの回転角度。規定値は <u>0</u> °
Color	文字の色を指定。 <b>Black</b> が、既定値。 指定方法は、「3 . 各要素内属性の説明」を参照の事。
OutLineWidth	文字の枠線幅を指定。ただし、実際には線を描画した後に枠に合わせて拡大/縮小されるため、ここで指定した太さが最終的な線の太さにはならない。規定値は <u>0</u>
OutLineColor	文字の枠色を指定。 <b>White</b> が、既定値。 指定方法は、「3 . 各要素内属性の説明」を参照の事。
Text	描画する文字列。規定値は <u>""</u> (空文字)
<u>FontName</u>	フォント名称。例："MS ゴシック"
FontBold	True : 太字 <b>False</b> : 標準
ShearX	X 軸方向の剪断率。規定値は <u>0</u>
ShearY	Y 軸方向の剪断率。規定値は <u>0</u>
ShearStretch	True : 剪断により変化した大きさを伸縮率に含める <b>False</b> : 剪断により変化した大きさを伸縮率に含めない
RevText	True : 文字列の順番を逆転させる <b>False</b> : 文字列の順番を逆転させない
WriteVertically	True : 文字列を縦書きにする <b>False</b> : 文字列を横書きにする
DelimiterProcess	True : 区切り文字のみに適用される重ね率を設定する <b>False</b> : 区切り文字も PileRate で指定される重ね率を適用する
DelimiterString	区切り文字として扱う文字。既定値は <u>""</u> (空文字) 通常、",." など文字間隔があいて欲しくない文字を指定する。
DelimiterPileRatef	区切り文字とその前の文字との重ね率。PileRate と加算される。 規定値は <u>0</u>
DelimiterPileRater	区切り文字とその後の文字との重ね率。PileRate と加算される。 規定値は <u>0</u>

属性	説明
PileRate	文字の重ね率。規定値は <u>0</u>
PileOrderLeftFront	True : 文字を重ねる場合に左を前にする <b>False</b> : 文字を重ねる場合に右を前にする
ProjectionX	True : X 軸方向で鏡映しにする <b>False</b> : なにもしない
ProjectionY	True : Y 軸方向で鏡映しにする <b>False</b> : なにもしない
ShadowX	X 軸方向の影までの距離。ただし、実際には影を描画した後に枠に合わせて拡大/縮小されるため、ここで指定した距離が最終的な影までの距離にはならない。規定値は <u>0</u>
ShadowY	Y 軸方向の影までの距離。ただし、実際には影を描画した後に枠に合わせて拡大/縮小されるため、ここで指定した距離が最終的な影までの距離にはならない。規定値は <u>0</u>
ShadowColor	影の文字の色を指定。 <b>Gray</b> が、既定値。 指定方法は、「3 . 各要素内属性の説明」を参照の事。
ShadowLineColor	影の文字の枠色を指定。 <b>DeepSkyBlue</b> が、既定値。 指定方法は、「3 . 各要素内属性の説明」を参照の事。
ShadowLineWidth	影の文字の枠線幅を指定。ただし、実際には線を描画した後に枠に合わせて拡大/縮小されるため、ここで指定した太さが最終的な線の太さにはならない。規定値は <u>0</u>
ShadowStretch	True : 影を含めた大きさを伸縮率に含める <b>False</b> : 影の大きさを伸縮率に含めない
CharAngle	個々の文字の回転角度。規定値は <u>0</u> °
BackColor	背景色。規定値は <b>背景色なし</b> 。 指定方法は、「3 . 各要素内属性の説明」を参照の事。
InternalX	オブジェクトの X (横) 方向への繰り返し描画間隔。規定値は <u>0</u>
InternalY	オブジェクトの Y (横) 方向への繰り返し描画間隔。規定値は <u>0</u>
Repeat	上記、InternalX・InternalY の繰り返し回数です。規定値は <u>0</u>

## 変更履歴

版	作成日	変更点
1	2003.05.13	新規作成
3	2005.05.10	QR コード対応に伴うバーコード属性の追加
4	2006.08.01	Reports.jar 対応